



「もしものとき」は明日かもしれない

問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎ 27-2481

防災のページ

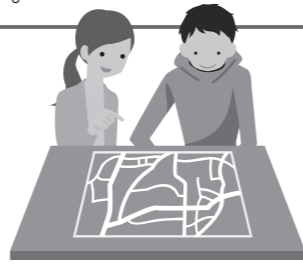
新型コロナウイルス感染症の避難(所)対策について

新型コロナウイルス感染症が日本各地で拡大し、終息のめどが立たない状況下でも災害時に危険な場所にいる方は、避難することが原則です。一方、災害時に不特定多数の方が集まる避難所は、新型コロナウイルス感染症への感染度合いが高まり、開設した避難所でクラスター（集団感染）の発生

が懸念されます。感染予防対策となる3つの密①換気が悪い「密閉空間」②大勢が集まる「密集場所」③間近な会話など「密接場面」を極力避けなければなりません。感染拡大防止から、次の点についてご理解とご協力をお願いいたします。

①自宅の災害の危険性を事前に確認

自分の住んでいる場所にどのような災害リスクがあるのか、ハザードマップで確認して、自宅の安全確認や避難の必要性を検討しておきましょう。また、避難する場合には、どこに、どのように避難するか確認しましょう。



②自宅・親戚や友人・知人宅など、避難所以外の避難先検討

自宅での安全確保が可能な場合、感染リスクがある避難所への避難は不要です。親戚や友人、知人の家など、避難所以外の安全な避難先も検討しておきましょう。

③避難所に持っていくもの

町の備蓄品には限りがあります。避難時の通常の持ち出し品のほか、自身の健康状態の確認・維持のためにマスク、体温計、アルコール消毒液、せっけん、タオル、スリッパ、ビニール手袋などを持参しましょう。



④入所時の混雑防止

避難所の受付では、感染防止対策として発熱の有無や体調不良などの確認、入所者の氏名、住所、連絡先などを記入していただきます。混雑防止のため、6月26日に全戸配布した折り込みチラシの『避難者受付カード』および『健康状態チェックカード』に必要事項を記入の上、避難当日に持参するようご協力をお願いします。



⑤避難所でのエチケットなど

避難所では、運営スタッフを含め、感染症対策を徹底していきます。避難者もマスクの着用、咳エチケット、うがい、手洗いなどのほか、ソーシャルディスタンス（社会的な距離の確保）や入所間の健康管理のため、検温や体調チェックなどにご協力ください。

⑥区画の確保、十分な換気など

避難所内は、過密にならないように十分な区画を確保していきます。こまめな換気などに、ご理解ください。また、避難所の過密化を防ぐため、別の避難所を案内する場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。



議会

令和2年第2回定例会

令和2年第2回定例会が6月11日に開催されました。農業委員の任命の同意18件と人権擁護委員候補者の推薦の諮問1件、本年度一般会計補正予算など議案9件、報告10件、承認2件が審議されました。町特別職の給与に関する特例条例の制定は、賛成少数のため否決されましたが、その他は原案どおり可決されました。主な内容をお知らせします。

議案

◆厚真町税条例等・厚真町国民健康保険条例・厚真町介護保険条例の一部改正
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減収に対し、町税の徴収猶予の特例や国民健康保険料と介護保険料の減免の特例について関係規定を整備し、条例の一部を改正しました。
町税条例等では、新型コロナウイルス感染症の影響で3割以上減収した中小事業者等の令和3年度の固定資産税の軽減特例や新型コロナウイルスの影響で2割以上の収入が減収した人に対する町税の徴収猶予の関係規定を整備しました。
また、国民健康保険条例は、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯を対象にした国民健康保険料の減免の特例を追加しました。
町介護保険条例は、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した世帯に関して第1号被保険者の介護保険料を減免する基準が設けられました。
◆令和2年度厚真町一般会計補正予算(第5号)
歳入、歳出それぞれ3億1788万5千円が追加され、総額12億6941万9千円となりました。補正された主な事業は、次のとおりです。
〔補正予算〕
○新型コロナウイルス感染症緊急経済対策商品券事業補助金(プレミアム付商品券による消費の活性化)：3290万円
○飲食業・観光業等顧客拡大促進事業

承認

補助金(新メニュー開発や販路拡大など、新たに顧客を拡大しようとする事業者等に対する支援)：600万円
○プレミアムポイント付与事業負担金(国のマイナポイント事業に合わせて町独自にプレミアムポイントを上乗せし、地域の購買を促進)：400万円
○サービス付高齢者向け住宅建設事業補助金(建設する民間法人に建設費を補助し、入居者の家賃を災害公営住宅等と同水準まで軽減、被災者の住まいの選択肢を広げる)：1億3000万円
○胆振東部地震の宅地耐震化推進事業調査設計委託料：3272万6千円
○ICT(情報通信技術)教育推進事業：3794万2千円
○文化財保護事業(文化財修繕補助金)：2502万7千円
○ふるさと教育推進事業：258万6千円
◆専決処分の承認(令和元年度厚真町一般会計補正予算(第18号))
令和元年度町一般会計予算は歳入・歳出それぞれ16億393万円を追加し、総額18億8726万9千円になりました。地方消費税交付金の追加交付に伴う財源調整および余剰金の基金積み立てによるものです。

報告

◆厚真町情報公開条例および厚真町個人情報保護条例の運用状況の報告について
各条例の規定に基づき、令和元年度の運用状況が報告されました。
○厚真町情報公開条例の運用状況▽文書の開示請求件数：7件(軽自動車税申告書2件、固定資産台帳、土地家屋台帳および地番データ、住宅再建支援のための公営住宅等および住宅地整備に係る意向調査、住宅再建支援制度についてのアンケート、家屋評価調査)、不服申立件数：0件
○厚真町個人情報保護条例の運用状況▽個人情報情報の開示請求、個人情報情報の訂正等請求件数、個人情報情報の取り扱いは正の申請請求件数：いずれも0件
◆予算の繰り越し(令和元年度厚真町一般会計)
◆予算の繰り越し(令和元年度厚真町簡易水道事業特別会計)
※繰越明許費として計上された経費について地方自治法施行令の規定に基づき報告されました。
◆一般質問(3人)
伊藤富志夫議員、橋本豊議員、下司義之議員の3人が一般質問に立ちました。
伊藤議員は、建設が進む災害公営住宅などについて質問。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の影響をふまえ、橋本議員が臨時休校などによる学習遅れへの今後の対応など、下司議員が今後の経済活性化対策などについてそれぞれ質問しました。